

プラットフォーム事業における 岩手相談窓口の活動について

【岩手相談窓口】

公益財団法人いきいき岩手支援財団

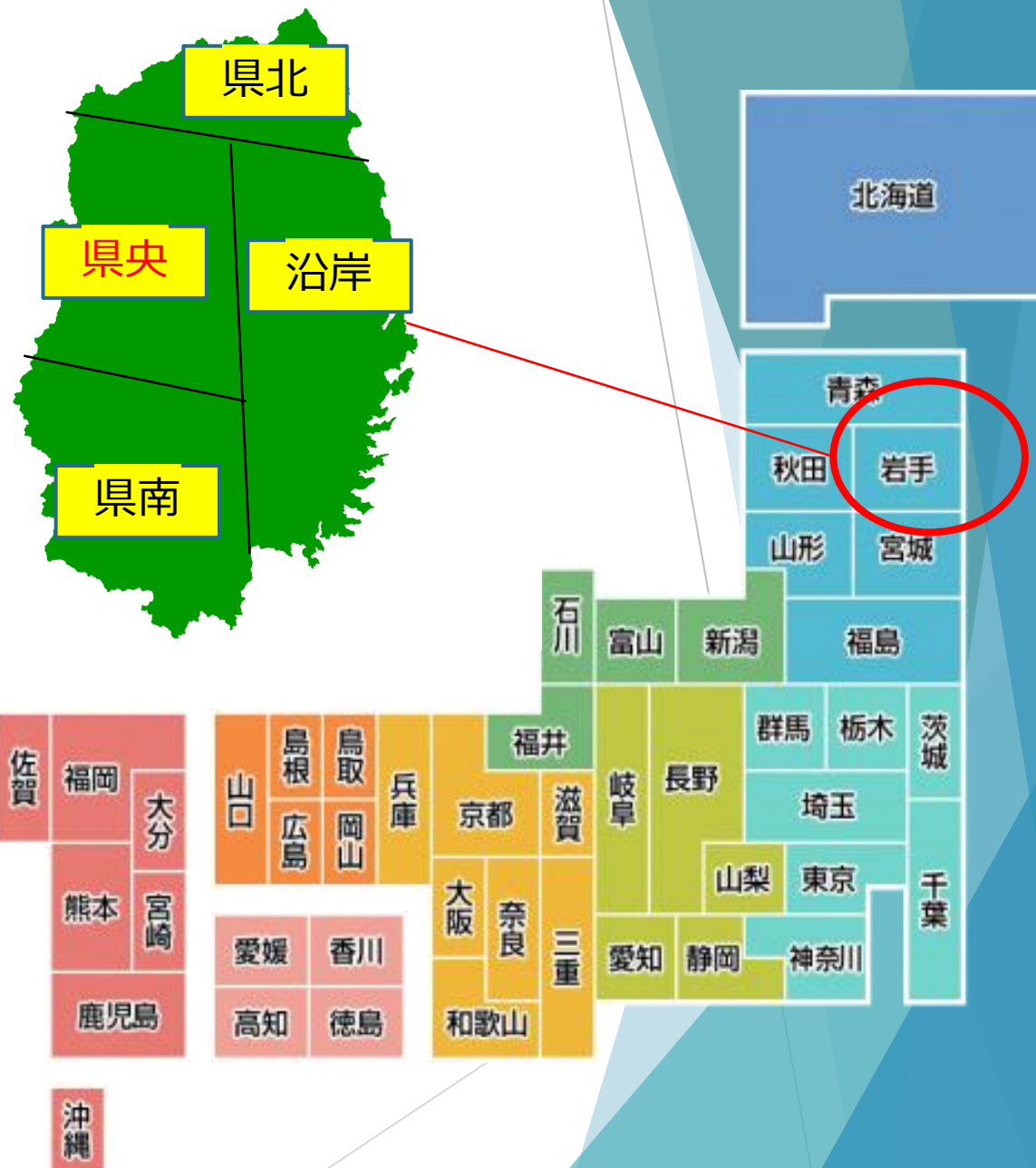
岩手県高齢者総合支援センター 玉山 公一

岩手県について

- 総面積：15,275.04km²（本州一の面積）
- 内陸部の大部分は山岳丘陵地帯。秋田県の県境には奥羽山脈、これに平行して東部には北上高地、そしてこの間を北上川が南北に流れている。沿岸部は、日本を代表するリアス式海岸がある。県央、県南、沿岸、県北の4つ広域振興圏に分かれている。

総人口	高齢化率	県庁所在地
1,144,407人	35.6%	盛岡市

資料：岩手県人口移動報告年報（令和6年10月1日）



これまでの介護ロボット事業の取組状況

平成23年度	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業（共催）
平成24～29年度	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業（研修・フォーラム等）
平成30年度	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業、 介護ロボット導入支援事業
令和元年度	介護ロボットの普及拠点事業、 介護ロボット導入支援事業
令和2年度	介護ロボットプラットフォーム事業、介護ロボットの普及拠点事業
令和3年度	介護ロボットプラットフォーム事業
令和4年度	介護ロボットプラットフォーム事業
令和5年度	介護ロボットプラットフォーム事業
令和6年度	<u>介護ロボットプラットフォーム事業</u> 、 <u>介護ロボット導入支援事業</u>

内容

- 1 令和6年度の事業実績
- 2 今後取り組むべきこと



介護ロボットの開発・実証・普及広報のプラットフォーム

主な業務

研修会の開催、地域関係団体とのネットワーク構築、伴走施設へのサポート

相談窓口

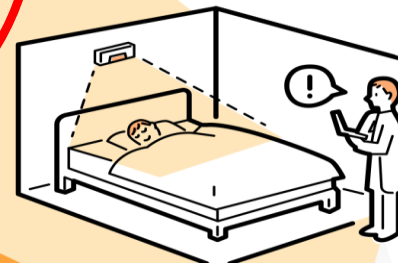
介護ロボットに関わる相談受付
介護ロボットの紹介・試用貸出
介護ロボットの体験展示
リビングラボネットワークへの取次ぎ

介護現場



実証フィールド

介護現場での試験的運用
導入効果のデータ収集



開発企業



リビングラボ

介護ロボットの製品評価・効果検証
効果検証に係る助言
介護サービスの質の向上・
効率的なサービス提供に向けた対応

介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム

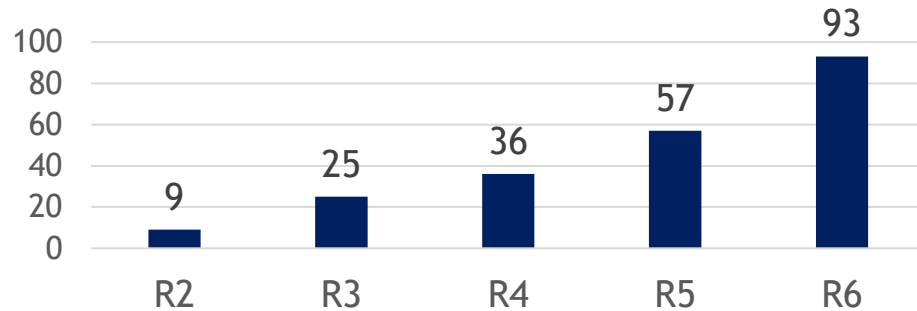
相談窓口の業務（R6.4～R7.1）

主な業務	内容
(1) 介護ロボットに係る相談対応	介護現場・開発企業双方から、介護ロボットに係る相談対応。 【介護現場：93件 企業：91件】
(2) 介護ロボットの体験展示	・常設展示、研修会やイベントでの出張展示 【見学者数：497名】
(3) 介護ロボットの試用貸出	介護ロボットの試用貸出（開発企業と介護現場との取次） 【貸出件数：14件】
(4) 業務アドバイザーによる伴走支援	課題解決のための改善活動をサポート 【伴走施設：3施設】
(5) 協議会の開催	地域の関係団体を構成員とする協議会の開催 【年2回の開催】

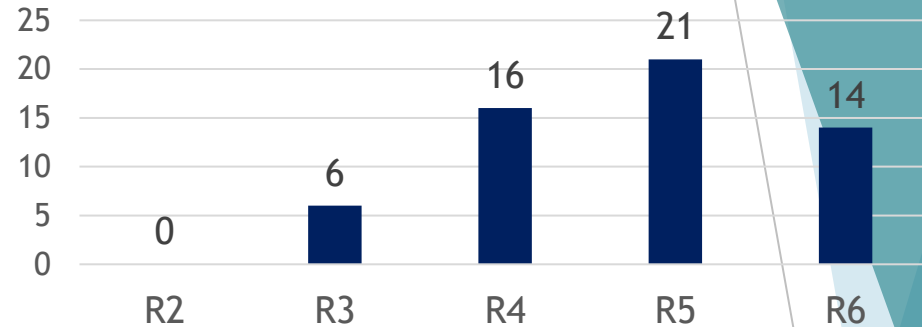
県事業

R2～ 介護ロボットPF事業実績

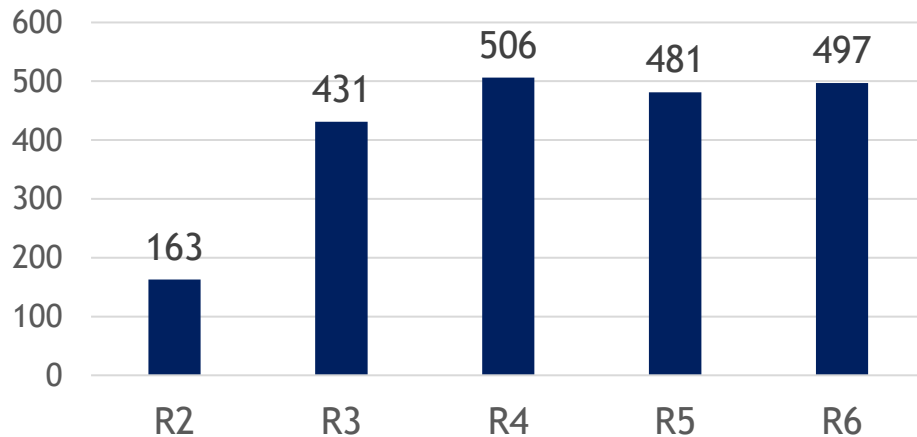
ニーズ相談



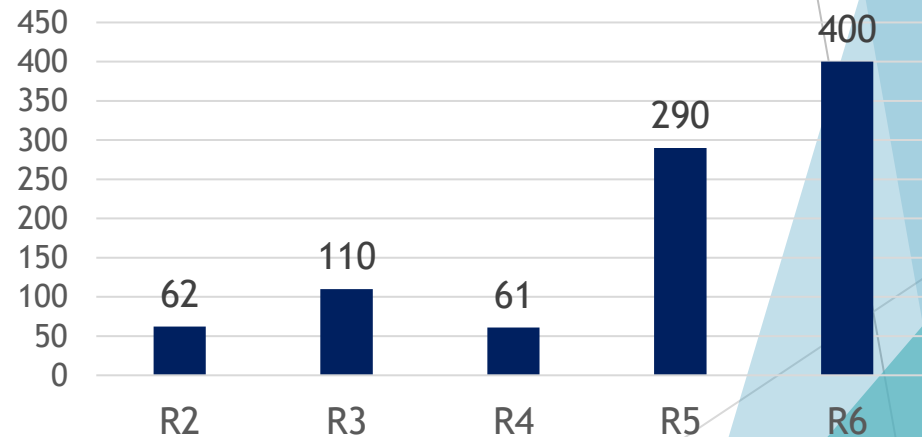
介護ロボット試用貸出



体験展示来場者数



研修会参加者数



相談、見学者、研修参加者など増加傾向にあり、介護現場の生産性向上の取組など年々関心度が高まっている。

介護ロボットPF事業・介護ロボット導入支援事業 研修会

令和6年度に県の介護ロボット等導入支援補助金の活用を希望する法人(事業所)の皆さま

令和6年度から補助金を受けるためには介護現場における生産性向上の取組に関する研修など「導入支援と一体的に行う業務改善支援」を受ける必要があります。この業務改善支援は本研修会を受講することで要件を満たすことができますので、積極的にご参加ください。なお、当日は介護ロボット等に関する相談会も開催します。

令和6年度 **第1回**

介護テクノロジー導入研修会

令和6年 **8/6** 火

相談会 / 11:00~13:00
研修会 / 13:30~16:00 (受付は13:00~)

会場: メトロポリタン盛岡本館 4階 若手ほかフェザン立体駐車場のご利用で2時間無料

定員: 会場: 80名・WEB: 100名

岩手県・公益財団法人いきいき岩手支援財団(若手県高齢者総合支援センター)
(岩手県いわて) TEL.019-625-7490 FAX.019-625-7494

令和6年度 厚生労働省 介護ロボットの開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業

明日から実践!
介護事業所の生産性向上の取組み
応援セミナー&ワークショップ

生産性向上の取組を成功させるために、よく「準備が8割」と言われますが、いざ実践しようとする、様々な壁にぶつかるという声をよくお聞きします。今回のワークショップでは、準備8割に必要なチームづくり(委員会設置)や課題の見える化について、具体的な方法を学びます。明日からすぐに役立つ実践的な取組と一緒に考え、後押しします!

参加無料

こんなお悩みはありませんか?
Q: テクノロジー機器の活用を含めた生産性向上の取組をどうやって成功させればいいのか?
Q: 委員会ってどうやって運営していけばいいの?
Q: 課題を見える化するってどうやって行えばいいの?

日時・場所: 令和6年11月14日(木) 13:00~16:00 (受付12:30~)
ホテルメトロポリタン盛岡 11階 ギャラクシー
(盛岡市盛岡駅前北通2-27)
*フェザン立体駐車場利用で2時間無料。

対象: 介護施設の経営者・リーダー各1名ずつ参加
課題の見える化から解釈まで実践的な内容となっていますので必ず経営者とリーダーと一緒に参加ください

定員: 会場40事業所 オンライン100事業所
定員になり次第、締め切りさせていただきます

プログラム 受付12:30~開始

- ◆ 13:00- 開会・オリエンテーション
- ◆ 13:05- 講義
「介護現場の生産性向上に取組むための課題の整理のポイント」
登壇: 株式会社TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏
- ◆ 13:20- モデル事業所に学ぶ
「生産性向上の壁とその乗り越え方」
登壇: 株式会社TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏
住田町社会福祉協議会アノルス指定通所介護事業所 佐藤 未来 氏
- ◆ 13:35- ワークショップ
「効果的な課題8割の実績を表現させる」(休憩10分含む)
・生産性向上のための委員会の設置と運用
・課題の見える化の方法と委員会での対応ポイント など
ファシリテーター: 株式会社TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏
- ◆ 15:55- 閉会

必ずお読みください
参加事業所には(株)TRAPEの開発したWebアプリを用いて課題整理のためのアンケートを実施します。そのため、事業所がWebアプリにログインして課題(改善案、メールアドレス、氏名、役職等)を当該Webアプリに格納して登録することになります。これらの情報は、(株)TRAPEの個人情報を取り扱っている第三者から開示されず、厳格に管理させていただきます。このWebアプリは登録後も、生産性向上の取組のためにご利用いただける無料のツールですので、研修終了後のアンケートにて「継続使用を望む」をされた事業所については解除対象外とすることを想定しています。

問合せ先 (公財)いきいき岩手支援財団 岩手県高齢者総合支援センター
申込みURL: <https://forms.gle/kRNXpWcZUVW2JKY9>
TEL.019-625-7490 担当: 佐々木、尾、及川
申込み用QRコード

令和6年度
いわて働きやすい介護現場
サポートセミナー&
介護ロボット等展示会

参加無料

介護現場における生産性向上や職場環境改善の取組について、若手県内の4事業所からの実践報告・好事例の発表を通じ、明日からすぐに実践できる具体的な方法を一緒に考え、学びます。
当日は介護ロボット・ICTの展示会と各種相談会も開催します。

開催日時: 令和7年2月18日(火) 11:00~16:00
開催場所: ホテルメトロポリタン盛岡 本館4階
対象: 介護事業所の職員で生産性向上に意欲のある方、介護ロボット等のテクノロジーに関心のある方
定員: 現地参加: 100名
オンライン参加: 100名

展示会: 介護ロボット・ICT展示会 11:00~16:00
セミナー: 行政説明・実践報告・講演・実践事例発表 12:30~16:00 (受付開始12:00~)
相談会: 各種相談への対応(生産性向上等) 11:00~12:00

講師: ファシリテーター
鎌田 大啓 氏
株式会社TRAPE 代表取締役
厚生労働省「生産性向上ガイドライン」の作成に深く関わり、現場より介護現場の生産性向上(ICT導入含む)の多くの実績がある。令和4年度・令和5年度・令和6年度若手窓口業務アドバイザー。

申込みURL / <https://forms.gle/qv8hDUXthTQZ5cYe7> 申込み用QRコード

問合せ先 / (公財)いきいき岩手支援財団 岩手県高齢者総合支援センター TEL.019-625-7490

主催 / 若手県保健福祉部長寿社会課、(公財)いきいき岩手支援財団 岩手県高齢者総合支援センター

	第1回	第2回	第3回
現地	49事業所66名	6事業所×2 = 12名	69事業所125名
オンライン	140事業所144名	35事業所×2 = 70名	66事業所103名

業務アドバイザーによる伴走支援（生産性向上の取組）

1 特別養護老人ホームむらさき苑（県央：八幡平市）

「利用者との関わりを増やして行くための第一歩～手書きや重複記載を減らす取り組み～」

2 特別養護老人ホームぬくもりの家（県南：奥州市）

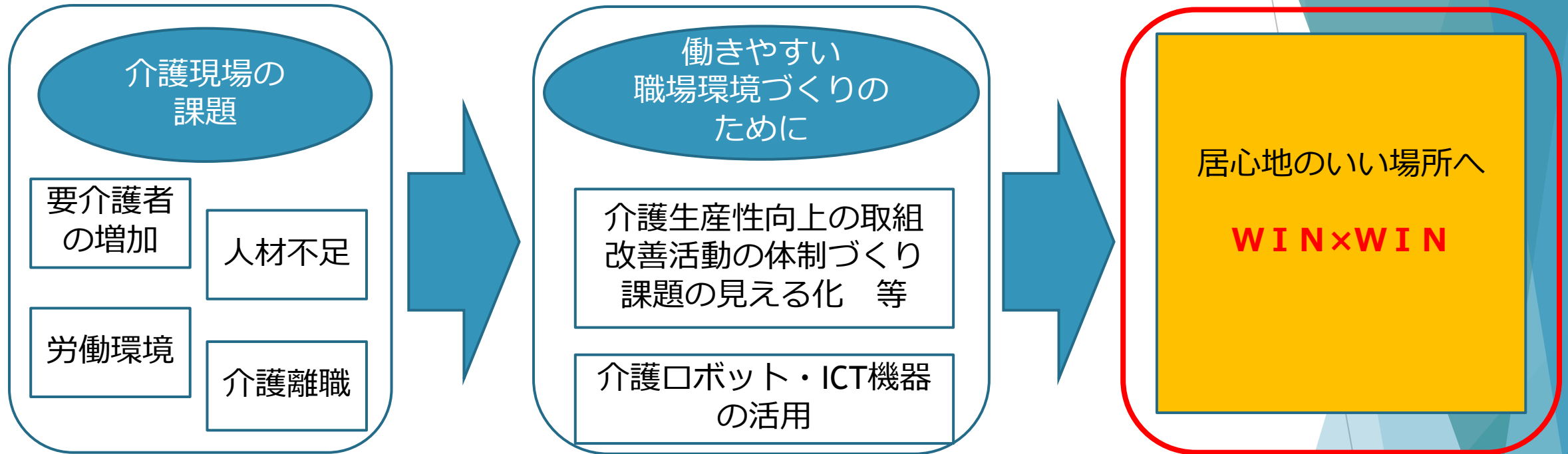
「想いを繋ぐ」

3 グループホームひだまり（県北：久慈市）

「全ての人が主役のひだまりに～利用者の「時」が「笑顔」に包まれるケアを目指して～」



2 今後取り組むべきこと



【相談窓口の役割を果たしていくために】

- 1 相談対応力アップ
- 2 情報収集力と発信力アップ
- 3 相談後のフォロー
- 4 介護生産性向上の取組の横展開
- 5 関係機関・団体との連携強化